

ガ わ ま



議会だより

12月定例会

12月定例会審議結果

委員会の動き

一般質問 町の考えを問う

No.116

平成29年1月25日

未来に向かって飛躍の年に



議長 石川 征郎

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えられましたこと、お喜び申し上げます。

さて、圏央道は昨年埼玉県内全線開通から1年経過し、川島ICから桶川・北本IC間の交通量は前年と比較して、3倍になったとのことです。茨城県内も2月26日には全線開通する見込みで、常磐道や成田空港にも繋がることとなります。我が町の位置的優位によるポテンシャルがさらに高まり、新たな発展が見込まれます。

町では、永年の懸案でありました新庁舎が完成し、昨年1月から業務を開始いたしました。行政サービスの向上はもとより、町民の皆様との交流の場として利用され、新たな町のシンボルになりました。

また、小学校の統合問題では、平成30年4月に開校予定の(仮称)三保谷・出丸小学校と、(仮称)八ツ保・小見野小学校の校名が、つばさ南小学校とつばさ北小学校に決定いたしました。校名には、子どもたちが「世の中に出て広く活躍してほしい。」「川島町から世界へ羽ばたいてほしい。」という願いが込められています。

今年は何年かですが、町議会としても、川島町が未来に向かって飛躍する年になるよう、努力してまいります。議会に対しても、ご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

結びに本年が皆様にとって、幸多い年になりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



←前列右から

菊地 敏昭 議員

←後列右から

稲村美代子 議員

道祖土 証 議員

遠山 尚 議員

山田 敏夫 議員

栗岩 輝治 議員

石川 征郎 議長

新井 悦子 議員

飯野 徹也 副議長

小峯 松治 議員

森田 敏男 議員

松原 謙司 議員

小高 春雄 議員

爲水 順二 議員

12月 定例会 議案審議結果

平成28年12月定例会は、11月30日から12月7日までの会期8日間で開催されました。主な議題は、条例の一部改正5件、条例の制定1件、補正予算5件を審議しました。また、一般質問は9人が登壇し活発な質問が展開されました。主な議案の審議結果は次の通りです。

条例

■議案第63号 川島町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

平成28年人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の趣旨に鑑み、川島町議会の議員の期末手当の額を4・2ヶ月から4・3ヶ月に改定するものです。

(賛成多数・可決)

■議案第64号 町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

平成28年人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告の趣旨に鑑み、町長、副町長、教育長の期末手当の額を4・2ヶ月から4・3ヶ月に改定するものです。

(賛成多数・可決)

■議案第65号 川島町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

平成28年人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、川島町一般職員の給与を改定するものです。

主な内容は、若年層を中心とした平均0・2%の給与の引上げ、期末・勤勉手当を4・2ヶ月から

4・3ヶ月に改定、配偶者等に係る扶養手当を段階的に改定するものです。

(全員賛成・可決)

■議案第66号 川島町育英資金貸付基金条例の一部を改正する条例を定めることについて

川島町育英資金の充実を図ることにより、基金の目的となる有用な人材の育成を目指すことから、条例の一部を改正するものです。

主な内容は、基金の総額を1,310万円から2,000万円に増額するものです。

(全員賛成・可決)

■議案第67号 川島町立小中学校設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例を定めることについて

〔仮称〕三保谷・出丸小学校〔(仮称)八ツ保・小見野小学校〕の名称を「つばさ南小学校」「つばさ北小学校」に変更するために、条例の一部を改正するものです。

(全員賛成・可決)

■議案第68号 川島町子育て支援総合センター設置及び管理条例を定めることについて

児童及びその保護者に対する総合的な支援並びに地域全体における子育て支援の環境整備を図り、町民が安心して子育てできるまち

づくりを総合的に推進するため、川島町立幼稚園の跡地に「川島町子育て支援総合センター」を開設するにあたり、設置及び管理について、新たに条例を定めるものです。

(賛成多数・可決)

補正予算

■議案第69号 平成28年度川島町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ1,018万7千円を追加するものです。

主なものは、人事院勧告に伴う人件費の追加です。

(賛成多数・可決)

■議案第70号 平成28年度川島町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ874万円を追加するものです。

主なものは、財産管理費の減額、社会福祉総務費の追加等です。

(全員賛成・可決)

■議案第71号 平成28年度川島町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出は、変更ありませんが、主なものは、人事院勧告に伴う人件費の追加です。

(全員賛成・可決)

■議案第72号 平成28年度川島町介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1,865万9千円を追加するものです。

主なものは、地域密着型介護サービス給付費の追加等です。

(全員賛成・可決)

■議案第73号 平成28年度川島町水道事業会計補正予算(第2号)

収益的支出に57万8千円の追加、資本的支出から217万2千円を減額するものです。

(全員賛成・可決)

町道路線の廃止

■議案第74号 町道路線の廃止について(町道1247号線)

町道1247号線(北園部地内)について、有償譲渡に伴い廃止するものです。(全員賛成・可決)

■議案第75号 町道路線の廃止について(町道4055号線)

町道4055号線(白井沼地内)について、道路形態がなくなったことに伴い廃止するものです。

(全員賛成・可決)

議員提出議案

■議提第4号 残業時間の上限規制など労働時間の規制強化を求め

る意見書の提出について

長時間労働や過密労働での過労死や過労自殺を防止するために、規制強化の意見書を国に提出するものです。(賛成少数・否決)

■議提第5号 TPP協定を国会で批准しないことを求める意見書の提出について

TPP(環太平洋経済連携協定)を国会で批准しないことを求める意見書を国に提出するものです。(賛成少数・否決)

■議提第6号 石川征郎議長の議長辞職勧告に関する決議について

石川征郎議会議長の辞職勧告決議をするものです。(賛成少数・否決)

議員提出議案とは

議案は、議会の議決の対象となる案で、町長、議員及び委員会から議会に提出できることになっていきます。

議員が提出できる議案には、条例のように、町としての団体意思を決定するもの、意見書や決議のように、議会としての機関意思を決定するものの2種類があります。

いずれの場合も、川島町の場合、2名以上の賛成(提出者含む)があれば、提出することができます。ことになつていきます。

各議員の賛否

(○は賛成、×は反対、―は議長)

議案	議員氏名													審議結果	
	松原謙司	稲村美代子	小峯松治	遠山尚	新井悦子	栗岩輝治	爲水順二	飯野徹也	森田敏男	菊地敏昭	道祖土証	山田敏夫	小高春雄		石川征郎
12月定例会 町長提出	議案第63号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	―	可決
	議案第64号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	―	可決
	議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
	議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
	議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
	議案第68号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	―	可決
	議案第69号	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	―	可決
	議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
	議案第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
	議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
	議案第73号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
	議案第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
	議案第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	―	可決
議員提出	議提第4号	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	―	否決
	議提第5号	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	―	否決
	議提第6号	○	○	×	×	×	○	×	―	×	○	×	×	除斥	否決

(※議員名は、議席順となっております。)

旧庁舎の跡地利用は

職員とかわじま未来塾で検討

●平成28年度川島町一般会計補正予算(第5号)

問 現在のハザードマップは、実際に災害が起きた時や、堤防が決壊したときにどうなるのか、地域の方々はどこに逃げていいのか、そういうことがわからない。どのような内容で作成するのか。

答 今回、国から荒川水系の洪水シミュレーションが示されました。それを参考に堤防が決壊したあとの状況や、広域的な避難経路などわかりやすく表示できるように、議会や地域の方の意見も取り入れ、今後2年間かけて作ればと考えています。



跡地利用が検討されている旧庁舎

問 パスポート発券業務に係る県証紙売りさばき料が少ないとのことだが、現在の発券状況は。

答 当初、年間600件程度を見込みましたが、10月末現在で230件程度で、平成28年度末までも、400件程度の見込みです。

問 新たな基準の道路工事の箇所は、場所は正直地内です。ここは、4m以下の幅員ですが、幅2m以上で境界が確定している等の条件を満たしている箇所です。

問 旧庁舎の駐車場を購入したが、今後の利用計画は。

答 跡地計画については、旧庁舎を含めて現在職員で検討しており、かわじま未来塾の方にも入っていたいただき進めていきます。

問 軽自動車車検情報提供料とは。
答 今年度から経年車の重課が導入されました。町では、初年度検査時の年月日や燃費性能など確認する資料を持っていないので、適正な課税をするために、1台当たり11・2円の情報提供料を支払うものです。

子育て支援拠点施設の名称は

『子育て支援総合センター』に

●議案第66号 川島町育英資金貸付基金条例の一部を改正する条例を定めることについて

問 基金を690万円増額するが、今後の借り入れの見込みは。

答 借り入れ金額は、約80万円から90万円が多くなっています。また、返還している方が出てきていますので、690万円程度あれば、来年度再来年度の運営はできると考えています。この育英資金の他、提携市中金融機関の教育ローンを借りる方には、町が金利を助成する制度も、活用いただければと思います。

問 基金総額2,000万円の設定が、妥当なのか。

答 原資の1,310万円は、遠山元一氏からの寄付を活用させていただいたものです。税金を繰り入れしどこまで広げるかは、ここ1、2年様子を見て、検討したいと考えています。

●議案第68号 川島町子育て支援総合センター設置及び管理条例を定めることについて

問 全体を管理するセンター長等の設置について、町の考えは。

答 センター長を町の職員でということは、しっかり検討します。

問 指導や支援する専門職は。

答 子育て支援センターと児童センターは、指定管理者制度の導入を考えると、常駐職員2人、臨時職員2人、イベント等の場合には更に臨時職員2人の計6人を予定し、専門職は、相談業務があるので、保育士等の資格を持った者の常駐を考えています。

問 指定管理者制度導入の理由は。

答 指定管理をしている民間のノウハウを活用しながら、オープン当初から他の自治体に負けないサービスを提供していくためです。



子育て支援総合センター

町の考えを問う

町政一般質問要旨

12月6日、7日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

栗岩 輝治 議員

- ・ T P P 問題について
- ・ 正規職員、臨時職員待遇問題等について
- ・ 地域包括支援センターについて

稲村 美代子 議員

- ・ 防災について
- ・ 学校給食について
- ・ ゴミの減量等について

飯野 徹也 議員

- ・ 給食センターの施設管理と運営について
- ・ 公民館の耐震改修について
- ・ 町の空き家対策について

小峯 松治 議員

- ・ 農業問題について
- ・ 都市計画について

新井 悦子 議員

- ・ 公共交通について
- ・ 障がい者雇用について
- ・ コミュニティ・スクールについて

遠山 尚 議員

- ・ インター南側開発に係る取り組み進捗状況について
- ・ 都市計画法第34条第11号について

松原 謙司 議員

- ・ 町のブランディングについて
- ・ 雪害対策について
- ・ 町職員の労務管理について

道祖土 証 議員

- ・ 子育て支援について
- ・ 公共交通とかわみんタクシーについて

菊地 敏昭 議員

- ・ 町の情報発信力について
- ・ 川島町の将来像と展望について

問 町の正規職員の定数と現在の職員数と臨時職員は何人か。

答 **総務課長** 正規職員の定数は189人、4月時点の職員数は178人、臨時職員数は103人です。

問 正規職員が減り、臨時職員の増大は問題だ。臨時職員の比率37%だ。仕事量の増大に支障は無いか。

答 **総務課長** 適正に人員配置をしています。

問 臨時職員の待遇改善として、ボーナスや勤続加算などの考えは。

答 **町長** 来年度からの単価や待遇について見直しを検討しています。臨時職員の正規職員への登用制

問 町の臨時職員の待遇改善の考えは

答 来年度以降に見直しを検討



栗 岩 輝 治

答 **総務課長** 採用試験を受けて、度はあるのか。

問 正規の職員になった事例はありません。 T P P 問題が国会での強行採決、米国次期大統領の撤退発言もあり国内の農業は大打撃となる。町の見解を伺う。

答 **町長** 国政問題なので町の考え方を直接反映していくことは困難ですが、町の基幹産業の農業が持続できるよう、米のブランド化など推進して行きます。

問 町内の大規模農家、農協などの情報、意見をどうつかんでいるか。

答 **農政産業課長** 大規模農家、農協とも適宜、情報交換しています。

問 地域包括支援センターの現状と増設計画の具体化は。

答 **健康福祉課長** 相談件数は年度によりばらつきがあり増設については将来を見据えて現在検討中です。



町立さくら保育園



学校給食センター



問 学校給食費特別会計への補助は

答 補助なしで給食の提供は出来ている

稲村 美代子

問 町の防災行政無線の点検は、基地局等を毎年点検、不良箇所は修繕しています。

問 小・中学校ではどのような防災教育を行っているか伺います。

答 教育総務課長 全校避難訓練で経路、避難場所の確認や災害時引き渡し訓練を行っています。また、小5で安全マップの作製、小6で震災復興の市民の取り組み、中学で煙体験、起震車体験等を行っています。

補助は

問 平成9〜22年度まで学校給食特別会計に一般会計から補助があつたが、その後なくなつたのはなぜか。

答 補助金の復活は考えているか。

問 平成9〜22年度まで町からは補助金がありました。平成26年度からは8%になりましたが、補助金なしで行っています。今後、消費税が

答 教育総務課長 消費税が3%になつた平成3〜4年度、5%以上があつた平成9〜22年度まで町からは補助金がありました。平成26年度からは8%になりましたが、補助金なしで行っています。今後、消費税が上がれば検討しますが、平成21年度の給食費値上げにより、標準的な給食提供は出来ていると考えます。

問 環境センターに事業系ごみを自己搬入する場合、70kg以下は無料だが、他市町村は有料の所が多い。今後、手数料の改定はあるか伺います。

答 町民生活課長 埼玉中部資源循環組合稼働時に9市町村が同じ条件を設定すると思われれますので、その時に改定する可能性があります。

問 生ごみ処理容器の普及、販売は。町民生活課長 近隣市町村や県の動向を見て判断したいと考えます。

問 学校給食センターは完成から25年たったが、建屋や、設備の改修更新の計画は。民間委託が課題となつて10年が経過しているが、民間委託の計画はどの様になっているか。熱源ボイラーの他の設備への改修の考えは。

答 教育総務課長 建屋について本年度の調査では、緊急を要する不具合はないとの判定でした。設備機器類は、日常点検、法定点検を実施、大きな不具合はない状況です。民間委託については、10月24日に、調理業務等民間委託基本方針を決定し、来年度から実施します。また稼働規

問 給食センターの調理業務等の民間委託は

答 来年度から実施します

徹也 野飯

問 模の縮小に伴い、熱源を含めたコンパクトな設備の検討も必要と考えています。

問 町は、5か所の公民館の耐震診断を実施した結果、5か所とも耐震補強が必要と報告されている。今後の対応について伺う。

答 生涯学習課長 耐震化については、小中学校舎、避難所になっている体育館、町民体育館、コミセン等を優先に工事を進めてきました。公民館は整備が遅れている状況だが、小学校規模適正化計画、庁舎跡地利用検討計画等を踏まえ計画的に進めていきます。

問 空き家バンク制度を策定してから4年目となったが現状と課題は。

答 農政産業課長 今年度までの成約数は4件で十分な状況ではない。登録物件を増やし、HPなどを通じてPRを行い制度の活用に向けていきます。



学校給食センター内の設備



問

農地の再ほ場整備の考えは

答

集積を先に進め、その後
埼玉型ほ場整備を進めたい

小 峯 松 治



大型機械に適したほ場整備を

問 川島町の米主体の農業において、農業経営安定のため、農地の有効利用、大規模化による生産コストの削減等積極的に進めていかなければ、農業の継続、農地の保全も難しくなると危惧しています。高齢化、採算ベースから農業をやめたいと思っている人も多く、農地の流動化もある程度進んでいる。農地の「再ほ場整備」がやりやすいのではないかと、思うが、考えを伺います。

答 町長 再ほ場整備を進めて行く前に、農地の集積を進めたい。既に平沼地区12・8鈴、正直地区で27鈴進んでいる。集積が進んだ後に「埼玉型ほ場整備」を進めて行きたい。埼玉型ほ場整備とは、従来の方式のような換地処分は行わず、土地の権利移動も行わないで耕地整理する方法のため、農家の方も安心して事業に賛同しやすいと考えます。

問 市街化区域と市街化調整区域では土地の価値、活性化等において大きく差が生じたと思う。調整区域の活性化策の一つである、都市計画法第34条11号の指定についてどのように考えているのか伺います。



問 コミュニティ・スクールの設置は

趣旨を生かし
学校運営に努めます

答

新 井 悦 子

問 かわみんタクシーの試行運行により調査した結果、検証と考察でどのように反映できたか。

答 町長 町民の移動需要や費用対効果を検証し、かわみんタクシーの本格運行を決定しました。

答 政策推進課長 利用者アンケート調査をし、回答者の69%の方が今後も利用すると回答があり運行曜日、時間、病院の拡充、75才以上の高齢者、東武バス利用者の割引の制度を新設した。ぐるっと川島巡回バスはやすらぎの郷直行になったが今後も利用状況を注視していきます。

問 高校生の登録者利用状況は。



コミュニティ・スクール

答 政策推進課長 時間が合わず利用はない。若者の対策は今後も検討。

問 障害者雇用が埼玉県でも過去最高になったが町の取り組みは。

答 町長 就労移行支援事業所やハローワークとの連携で平成29年度に2か所事業所が開設を予定しています。

答 健康福祉課長 伊草地内に特例子会社の施設、中山地内にも就労継続支援施設が開設予定です。

問 重度障がい者の受け入れを社協でできないか。

答 健康福祉課長 受入れは困難ですが、相談窓口の拡充を図ります。

問 学校づくりコミュニティ・スクールの設置は。

答 教育長 後援会、学校評議員の意見を学校運営に反映しています。

答 教育総務課長 地域全体で子どもを育てる意識が根づいていて、コミュニティ・スクールの趣旨を生かした学校運営を進めます。



インターチェンジ南側地区

問 前回の一般質問では、「インター南側開発については、当面は県関係機関との協議や資料作成に鋭意取り組んでゆく」と答弁をいただきましたが、その後の進捗状況について伺います。

答 **町長** インター南側地区開発は第5次総合振興計画、都市計画マスタープラン等の上位計画において、インター周辺関連開発地域として位置づけ、市街化区域編入を目標として進めている事業です。この開発を

行うことで、税込及び雇用の増加が見込まれ、急速な少子高齢化による人口減少の克服にもつながるものと期待しております。今後は、さらに開発に関する同意率を上げる取り組みを行うとともに農林調整資料の熟度を高めるため、町と地権者協議会、開発事業パートナーとの三者で協力して、事業の早期実現を目指します。

問 都市計画法第34条第11号は、運用次第では人口減少解決の一助となるのではないかと。

答 **町長** 都市計画法第34条第11号は、人口減少対策の一助になると考えています。本年4月から開発許可事務の権限移譲を受け、独自に11号区域の指定ができるようになったので、現在、11号区域指定のための指定基準の作成準備を行っています。今後、町の基幹産業である農業との調和が図られ、市街化調整区域の活性化につながるような指定基準を検討していきます。



問 インター南側開発の進捗状況は

答 早期実現を目指します

とよ 遠山 尚

問 町の統一的なブランドイメージを醸成する事が必要かと考えますが、整理検討の予定はありますか。

答 **政策推進課長** KJ(川島)ブランド創出プロジェクトにて、町の魅力を整理検討。魅力をブランドに発展させるための戦略、ブランドの認証制度を検討。来年度から具体的なブランド化を進める。

問 「都会に一番近い農村」の商標登録をする予定はありますか。

答 **農政産業課長** 商工会が申請をする予定で、完了後、活用については商工会と協議していきたい。

問 圏央道北側側道の雪害対策は

答 歩道の除雪用に除雪機を導入



まつ ばら けん じ 松 原 謙 司

問 凍結防止剤の散布や除雪を行う。歩道は除雪が困難でしたが、除雪機を購入したので、職員による操作運転を原則とした対応が可能となる。

答 **まち整備課長** 業者委託により、凍結防止剤の散布や除雪を行う。歩道は除雪が困難でしたが、除雪機を購入したので、職員による操作運転を原則とした対応が可能となる。

問 凍結防止剤の住民への配布は。

答 **まち整備課長** 希望する地域に区長を通じて2袋まで配布。行政でできる作業範囲に限界があるので、地域の皆様にもご協力を頂きたい。

問 町職員のメンタルヘルス対策は。

答 **総務課長** 全職員に対してメンタルヘルス研修を実施。今年度からストレスチェックも実施。

問 タイムカードを導入しては。

答 **総務課長** 初期導入費800万円、ランニングコスト20万円との試算があり、予定はない。

問 職員一人あたりの残業時間は。

答 **総務課長** 27年は118時間。



圏央道北側側道の雪害対策が前進



答

問

高坂駅〜西大宮駅間
路線バスの要望を
現路線の役場経由、
上尾への要望を続けたい

道祖土証

問 鴻巣駅行・桶川駅行の深夜バスの要望は。

答 政策推進課長 夜早く終わってしまうので、遅い時間までの運行を要望しています。

問 駅の乗り入れが出来ないなら、町民バスを神明町車庫へ乗り入れの考えは。

答 政策推進課長 神明町車庫への乗り入れはバスの本数を減らされる要素が考えられません。



高坂駅

やすらぎの郷〜西大宮駅間の路線バスの要望の考えは。

答 政策推進課長 まず現路線の役場経由、上尾への路線の要望を続けたいと考えています。

問 かわみんタクシーを高校通学のために、午前7時から利用できないか。

答 政策推進課長 若者に対する交通対策は引き続き検討していくことになっていきます。

問 東松山市民病院、北里メデイカルセンターや妊婦さんや子育て世代のためにかかり付けの産婦人科医や小児科医への送迎にかわみんタクシーの利用は。

答 政策推進課長 役場から7kmの範囲で、利用者が多い病院を基準としています。

問 放課後児童クラブの考え方は。

答 子育て支援課長 子育て支援事業の重要な取り組みの一つと考え支援しています。



問 川島町の将来像と展望は

答 活気と魅力あふれる
まちづくりを進めます

昭敏地菊

問 道路交通網の発展、また通信技術の著しい進歩により時間的距離が縮まり、自治体間の多くで情報戦が繰り広げられております。町の情報発信力について伺います。

答 町長 あらゆる手段・手法を用いて、情報発信を行い、町の認知度を向上させ、自治体間競争を勝ち抜き、「選ばれる自治体」を目指してまいりたいと考えております。

問 町立小中学校の表示看板と避難場所と避難所の違いについて。

答 教育総務課長 見易さ、所在表記、外国人訪問客の観点から工夫します。



観光案内ポスター

答 総務課長 避難場所は、災害時の危険回避の為の一時的な場所。避難所は、一定期間の避難生活をする施設です。

問 役場の総合窓口化について。

答 政策推進課長 町民生活課では、お客様を移動させず担当職員の入替わりで簡易なワンストップ対応を実施。また将来的な組織のあり方、窓口と職員の効率的運用を検討します。

問 町の将来像と展望について。

答 町長 圏央道と川島ICが位置することで、町の発展可能性は周辺市町と比較して優れており、強みを活かして産業の活性化による雇用確保、子育て、教育環境の充実など、まち・ひと・しごと創生総合戦略施策を着実に実施していくことで、未来につながるまちづくりを進めてまいります。KJブランド創出プロジェクトの一環のタウンプロモーションで活気と魅力にあふれるまちづくりを進めます。

◆ 議会運営委員会所管事務調査

議会活性化の取り組みを視察

① 調査期間：平成28年10月26日（水）～27日（木）
② 視察地：長野県小布施町・箕輪町

■ 長野県小布施町の議会活性化

小布施町は、善光寺平の北東に位置し、人口は約1万1千人で、議員定数は14人となっています。

小布施町議会では平成22年3月から、通年議会を実施しています。議会の定例会の回数を年4回から年1回とし、会期を3月から翌年2月までとするもので、執行部と調整ができれば、議長の招集でいつでも議会の再開ができることになっています。

通年議会のメリットとしては、会期にとらわれず活発な議論が可能、議長の招集でいつでも議会の



小布施町役場

再開ができるため、請願・陳情等にすぐに対応が可能、マスコミ等にも取り上げられ、町民から「議会は頑張っている。」との声があるが、反面、町民の中には、「通年議会なので、議員は毎日役場へ出勤する。大変で立候補しづらい。」などの誤解もあるとのことでした。

議員定数等検討特別委員会では、平成23年、27年の選挙で2回連続での無投票という結果を受けて、町民からは定数を減らすべきという声があるが、定数削減を前提としてではなく、議員報酬や現在交付していない政務活動費も含めて、議員のなり手不足という問題をどう解決していくか、前期の任期が終わる来年4月までに検討したい、とのことでした。

■ 長野県箕輪町の議会活性化

箕輪町は、長野県のほぼ中央部に位置し、人口約2万5千人で、議員定数は15人となっています。

箕輪町議会では、豊かで明るい住みよい箕輪町の実現を図ることを目的に、平成22年3月に議会に

関する基本事項を定める議会基本条例を制定しました

その中の町民と議会との関係では、町民に対し説明責任を果たすとともに、町民の意見を的確に把握するため、町民と議会の意見交換をする場を設ける、町民が議会を身近に理解する方法として、模擬議会を開催する、としています。

意見交換会は、区長会を行うほか一般を対象にも行っていますが、区長さんの参加が多く、また参加者が重複してしまうため、今後は子育て中の保護者やJAなど、各種団体を対象に計画して情報発信をしたい、とのことでした。

また、箕輪町議会の特徴のある取り組みとして、議会を身近に感じてもらうために、毎年中学生による模擬議会を開催しています。内容は、生徒会の中学2年生による模擬議会、生徒が1日議員として参加し、議長・副議長を務めるほか、一般質問を行い、総合振興計画や子育て支援などについて、レベルの高い質問がされている、とのことでした。



箕輪町役場

所管事務調査を終えて

委員長 山田 敏夫

川島町議会においても、議員の政策提言能力の向上のため、の取り組みや、町民の信任に応え、開かれた存在感のある議会を築くため、議会基本条例を制定するなど、今後この研修を参考として、議会運営の活性化に取り組んでまいりたいと思います。

川越地区消防組合議会

山小高
水田春
順敏春
二夫雄

川越地区消防組合議会第3回定例会が10月4日に開催されました。

始めに『平成27年度川越地区消防組合一般会計歳入歳出決算認定について』審議に入りました。審議の中で、消防通信整備の内容は、との質疑があり、消防用署活系無線機の更新であります。川島消防署には9機配備されており、配備から8年を経過したものを更新しております。との答弁があり、採決の結果、原案どおり認定されました。

次に、『川越地区消防組合火災予防条例の一部を改正する条例を定めることについて』審議に入り

ました。この条例は、消防法令に関する重大な違反のある防火対象物について、その内容を利用者や隣接する建物関係者等へ公表することで、防火安全体制の確立を促すものです。採決の結果、原案どおり可決されました。

後に、2名の議員による一般質問が行われ閉会いたしました。(爲水)

次回3月の定例会
3月1日(水)
開会予定です。

議会日誌

11月

- 21日 議会広報研修会
- 23日 農業商工祭
- 24日 議会運営委員会
議会全員協議会
- 30日~7日 12月定例会

12月

- 7日 議会全員協議会
議会報編集委員会
- 26日 議会報編集委員会

1月

- 7日 消防出初式
- 8日 成人式
- 10日 議会報編集委員会

川島町マスコットキャラクター



かわみん

かわべえ

表紙解説

昨年12月8日、川島町スポーツ少年団駅伝大会が開催された。写真は、1区グラウンド周回から外周コースに出る一コマ。

この大会は昭和55年ごろから始まり、今年で37回目となる。今年は19チームが6の区間を擽たぐでつなぎ、競いあった。

駅伝では、「擽をつなぐ」が、重要なポイントである。擽の歴史は、日本古代にさかのぼる。日本神話の中に、神事に携わる者が、穢れを払い、身を清めるために使われた記録があるという。

身を清め、チームを擽でつなぐ。日本人らしい競技である。

(写真・文章／飯野)

編集後記

晴天に恵まれ新年を迎えました。今年の干支は「丁酉」。酉年生まれの方は953万人で総人口の7・4%で最も少ない干支です。

酉は「取り込む」との語呂あわせで大きく発展する願いが込められています。2017年が希望と安心の一步を印す一年となりますよう議会運営を進めてまいります。

さて、議会報編集委員会では、町民の皆様いち早く情報提供できますよう取り組んでまいります。

本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(新井)

議会報編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 飯野 徹也 |
| 副委員長 | 新井 悦子 |
| 委員 | 遠山 尚 |
| 委員 | 小松 松治 |
| 委員 | 稲村 美代子 |
| 委員 | 松原 謙司 |
| 委員 | 石川 征郎 |